

2012年4月13日

沖縄県土木建築部長 様

日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会

委員長 山田 文雄

新石垣空港建設地内における環境影響評価調査
特にコウモリ類の調査に関する要望（その2）



拝啓 日ごろより日本哺乳類学会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、昨年4月に当委員会より貴部に提出いたしました要望書に対し、丁寧なご回答をくださりありがとうございました。とくに、リュウキュウユビナガコウモリの幼獣調査の実施につきましては、ご配慮に深く感謝申しあげます。

当委員会においてご回答の内容を検討しましたところ、要望書の説明不足による理解の行き違いがあると思われました。

そこで再度、それらの点について補足的な説明を加えた要望書を提出いたしますので、今年度調査の実施に当り、ご検討くださるようお願い申しあげます。

敬具

記

1. 出洞個体数のカウントについて

コウモリへの影響を最小限に抑えるため、正確なカウントに支障がない限り、洞口ではなく、洞外のできるだけ離れた場所から赤外線ビデオカメラにより撮影すること。

昨年度の回答では、洞口での撮影を極力避ける配慮についての言及がありませんでしたので、回答をお願いします。

2. 建設域内におけるコウモリ類各種の出生個体数の把握について

それぞれの種について、適期（分娩期の終了直後）に調査がなされるよう、繁殖活動の推移をモニタリングすることと、モニタリング結果に基づいて一斉調査を行う時期や回数についても再度検討すること。

コウモリ類各種の出生個体数を把握するためには、3種それぞれについて、

その年の分娩期が終了した後、ただちに入洞して幼獣をカウントすることが必要です。（リュウキュウユビナガコウモリについては、出産していないとしても、出産哺育期にその事実を確認する必要があります。）

昨年度の回答では、調査の等質性を確保する観点からこれまで同様の調査を実施するとのことでしたが、現在のように時期と回数（5月、6月に各1回の2回）を固定して行う調査では、3種それぞれの出産ピークに調査時期を合わせることができず、3種の分娩期の違いや、各種の分娩期の年変動に対応した正確な出生数の把握は困難で、出生数の過少評価につながると考えられます。

昨年度の回答には、現在の調査法では出生数の正確な把握ができない可能性についてどのように検討されたかの説明がなく、要望は受け入れていただけなかったと考えています。しかし、各種の出生個体数を正確に把握することは空港建設がコウモリ類の個体群に対する影響を考える上できわめて重要なことと考えますので、再度要望します。なお、昨年回答の中に、「毎年、出産哺育期の調査にあたっては、事前に八重山地方の調査地点以外の地域の情報も収集して行っている」という記述がありますが、具体的にどのような調査が行われたのかご教示ください。

3. 出生個体数のカウントについて

母獣が採餌のために出洞した後に、入洞してカウントすること。出産哺育集団への影響が懸念される場合は、たとえば哺育場所において、インターバル・タイマー機能付のデジタルカメラで母獣が出洞した後に撮影を行い、各洞における出生個体数の把握に努めること。

これは、哺育集団を攪乱せずに出生数を把握するための方法として提案したのですが、昨年の回答ではこの提案への言及がありませんでした。なお、母獣がいない時間帯の撮影であればフラッシュの影響はないため、この方法は広く用いられています。

4. リュウキュウユビナガコウモリの出産哺育について

とくに希少性の高いリュウキュウユビナガコウモリについては、建設域内に限らず、石垣島内において継続的に出産哺育が行われているかは重要な事項であるので、今後も、出産哺育場所の探索、幼獣の出現状況の把握に努めること。

この要望については、一昨年度に引き続き昨年度も調査が実施されたことを高く評価します。

5. 小型コウモリの調査結果については、翌年度の早い時期に小型コウモリ類

検討委員会を公開で開催しているとのことですが、これは出産哺育期から1年近くが経過した時点です。モニタリングが実効性を持つために、個体数の急減など緊急事態が発生した場合の対応方法についてご説明ください。なお、当委員会の求めに応じて、調査結果を速報いただいていることについて感謝いたします。

6. 本年度まではモニタリング調査が予定されていますが、空港建設の影響はタイムラグを伴って現れる可能性があることから、次年度以降もモニタリング調査を継続すること。

7. 業務ご多忙の折、まことに恐縮ですが、今年度の調査が実施されるまでに回答をくださいますようお願い申し上げます。

以上

本件連絡先：

〒305-8687 つくば市松の里1

(独) 森林総合研究所 山田文雄

電話：029-829-8148、FAX: 029-873-3799

電子メールアドレス：fumio@ffpri.affrc.go.jp

〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1

東京女子大学現代教養学部 石井信夫

電話：03-5382-6471、FAX：03-5382-06799

電子メールアドレス：nishii@lab.twcu.ac.jp